

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院薬剤部で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

がん化学療法開始後に生じた味覚障害に対しての酢酸亜鉛の有効性と使用実態調査

2. 対象となる方

がん化学療法開始後、2018年4月1日～2023年4月31日までに味覚障害を生じ、酢酸亜鉛（ノベルジン®）が処方された患者

3. 研究の目的

がん化学療法を受ける患者は治療に関連した様々な有害事象を生じ、その中の一つである味覚障害は、がん化学療法を受けた患者の68%に見られたとの報告がある。味覚が障害されることで、経口摂取量が低下し、栄養障害や体重減少を招く事が懸念されるため、患者の味覚変化について積極的な介入が必要である。

味覚障害の原因の一つに亜鉛欠乏性があげられ、その場合、亜鉛の補充の有効性が報告されている。酢酸亜鉛は2017年3月より低亜鉛血症に対しての適応が追加され、低亜鉛血症に対しての亜鉛の補充に使用可能となった。

ただし、がん化学療法を受けている患者に限った酢酸亜鉛の有効性等の報告はなく、がん化学療法開始後に生じた味覚障害に対しての酢酸亜鉛の有効性を算出し、その有効性に影響する因子を患者背景より考察することで、味覚障害の改善が見られにくい患者でのより早期な他の介入が検討できるため。

4. 研究期間

2023年9月（倫理審査委員会承認後）～2025年3月31日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

診療情報等：年齢・性別・BMI・体表面積、血清亜鉛値等の検査データ、
既往歴、診断名、治療歴、使用薬剤、副作用等の発生状況 等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院薬剤部 薬剤師 川崎 翔哉

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院薬剤部 川崎 翔哉

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)